

令和六年度 文学部 歴史学科

学校推薦型選抜 小論文

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所縦書きで記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子は、問題（二頁）および解答用紙（一枚）からなっている。
- 6 この冊子のうち、落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 試験時間中の退室は認めない。
- 8 問題冊子は持ち帰ること。

【設問】

次の文章を読んで、時代区分や地域をまたいで歴史を研究することの意義を、具体例をあげながら八〇〇字以内で論じなさい。
なお、句読点やカッコ、数字はそれぞれ一字として数える。(配点 一〇〇点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

【中略】

(著作権の関係で不掲載)

【中略】

(著作権の関係で不掲載)

馬部隆弘『椿井文書―日本最大級の偽文書』（中央公論新社、二〇二〇年。なお引用にあたり一部の表記を改めたところがある。）

(*) 椿井文書：山城国相楽郡椿井村（現京都府木津川市）出身の椿井政隆（一七七〇～一八三七）が、神社や家系の由来を権威づけたい依頼者の求めに応じて偽作した文書の総称。中世の年号が記された文書を近世に写したという体裁をとることが多いため、あまり疑われずにこれまで活用されてきた。近畿一円に数百点もの数が分布している。